**西円堂**

　日本の第45代皇帝聖武天皇（701–756）の妃であり、光明皇后（701–760）の母である、橘夫人が建立を発願し行基菩薩（668–749）が718年に建立したという。1250年に再建されている。1955年に国宝に指定された。内部には奈良時代（710–794）の薬師如来像がある。これは日本最大級の乾漆仏像の1つである。毎年2月1〜3日、国家の安穏や作物の豊穣、寺門の興隆などを祈る法会である修二会が営まれるが、その結願の後、続いて追儺会（鬼追式）が行われる。これは1261年から続けられている儀式で、悪を象徴する3匹の鬼を毘沙門天が追い払うのである。